

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	広報なると・テレビ広報充実事業		担当部署	企画総務部 秘書広報課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 26年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると			終期
(小項目)		情報の共有化			
施策	4	情報の共有化の推進			
基本事業	1	広報活動の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	紙面や動画を活用し、行政情報等をわかりやすく紹介するとともに、より多くの市民に見ていただけるような広報紙及びテレビ広報を制作し、市政への関心や参画につなげる。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	平成25年度の取り組みを継続的に実施するとともに、紙面をより見やすくするため、表紙や目次などのレイアウトを見直す。また、テレビ広報においては、より最新の情報を提供するため、平成25年度から15日更新で番組づくりを開始しているが、さらに短縮し10日更新、あるいは1週間更新での放送の実施、並びに、番組内容の変更や他の効率的な情報発信方法について検討を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		広報モニター(20名)の肯定的評価	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	引き続き「広報なると」で市政の特集などを紹介するとともに、表紙や目次などのレイアウト変更、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面作りを行った。また、広報紙の記事をピックアップし、A4サイズにまとめたダイジェスト版を作成し、鳴門教育大学や公共施設内への設置を始めた。 テレビ広報では市民の社会貢献活動、市長が自ら参加する「市長チャレンジ」などを紹介し、動画の特性を生かした番組を制作・放映するとともに、昨年度に引き続いて年間24回(15日更新)放映した。情報量を増やす手法として、平成27年度から市政広報番組枠内で過去の番組を再放送することを検討した。 また、Youtubeでの広報番組の配信も開始した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 広報紙による市政の特集回数	10	8	8	8	8	回
	2 テレビ広報で市長の施策紹介回数	3	2	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	広報モニター(20名)の肯定的評価	75.25	81.43	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		116.3	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	621	10,937	11,558
		全体予算額	0	0	0	621	10,937	11,558
		決算額	0	0	0	729	10,823	11,552
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
		2.0	0.0		13,034		24,586	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：広報なると・テレビ広報充実事業】  
(千円)

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	10,783	11,552	11,418	11,418	11,418
	うち一般財源	10,118	10,823	10,701	10,701	10,701
	人件費	13,034	13,034	13,034	13,034	13,034
	総事業費	23,817	24,586	24,452	24,452	24,452

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		市民と市政をつなぎ、生活に関わる重要な情報を提供する事業のため、市民生活において必要不可欠のものである。今後もブラッシュアップし、評価向上に務める。
	効率性	B:概ね効率的だった		さらなる効率化を進めるためには、職員の知識、センス、スキルの向上が必要となるため、今後も実務を通して職員の資質の向上を図る。
②成果に対する評価	指標名	広報モニター(20名)の肯定的評価		積極的な情報発信やわかりやすい広報活動に努めた結果、成果指標を上回ることができた。
	目標	70.00	%	
	実績	81.43	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		定めた指標の実績は前年度より増加し、目標も達成できたが、内容の充実などにより、成果の向上を図れるため、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	テレビ広報においては、平成25年度から15日間隔で放送しているが、今後、モニター等市民の声を聞きながら、放送間隔短縮をはじめとする情報発信の拡充について検討する。紙面については、各所属からの掲載依頼が年々増加しており、現状の頁数では対応が難しくなっているため、さらなる記事の取捨選択や増ページなどの対応が必要となってきた。しかしながら、紙面・テレビともに、ページ数や番組時間を増やすことにより、新たに費用が発生するため、十分な検討が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	自治基本条例の施行以降、市民との情報共有の重要性がさらに高まっており、今後もより効率的で、見やすく、伝わりやすい広報活動に努める。なお、広報誌については27年度から毎号前後4頁をカラーで印刷し、紙面の魅力向上を図る。テレビ広報については、27年度から再放送枠を設け、前年度以前に収録放映した映像を、現年度の映像の後に放映し、市広報番組枠を最大限に活用する。			
	H28年度	前年度の取り組みを継続的に実施するとともに、広報誌やテレビ広報等でのわかりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。			